2018年7月号 no.177

編集人/ 社会福祉法人 花の会 広報委員会 連絡先/ 〒569-1042 高槻市南平台 3-29-9 TEL 072-692-2859 FAX 072-693-3603

★WEB http://www.hananokai.info/

★E-mail hana-net@minos.ocn.ne.jp

りお礼申し上げま るよ

この度の大阪北部地震(6月18日午前7時58分)に際しては、早々にお心遣いをいただき、あり がたく厚くお礼申し上げます。

ご承知のとおり、今回の地震では震度6弱を経験いたしました。市内では亡くなられた子どもさんも あり、ご冥福をお祈り申し上げます。

何とか当法人のメンバー・家族の皆さん、職員は皆無事で、施設など被害は僅かですみました。しか しながら、最初の揺れの後、水道やガスが止まり、余震も続いていましたので、安全を考え、業務を一 時休止せざるを得ませんでした。

その後の大雨や洪水の避難勧告等が続いた状況もあり、ご報告並びにお見舞いのお礼が遅くなりまし たこと、どうかご容赦いただきたく存じます。落ち着きましたら改めて詳しいご報告をさせていただく 所存ですが、お見舞いのお礼を申し上げます。

時節柄、皆様におかれましてもご自愛ください。

社会福祉法人 花の会 メンバー・ワーカー一同

「第18回 花の会夏祭り」 7月7日

中止のお詫び

開催を予定しておりました「第18回花の会夏祭り」は、「大阪北部地震」やその後の天候不順の ため中止させていただきました。

イベントを楽しみにお待ちいただいていた方、協賛いただいた企業・団体、支援いただいた関係者 の皆様にお詫びします。

今後とも、花の会へのご協力をよろしくお願いいたします。

社会福祉法人 花の会 夏祭り実行委員会

> 少社会の未来学」(201) 何とも物騒な表題です。

内田樹編

いる。の中で「支援」を志すのは難しくなってきての中で「支援」を志すのは難しくなってきて関心がとって代わられている。この時代背景 来と変わり、「時間」「責任(重責)」「資格_ が低賃金・重労働というのは気になるところ 用崩壊」から「ベーシックインカム」「 洞化する」世界が出現するかもしれない。「雇 きません」という状況でしょう。そして「結 すかについて誰も確かな予測を立てる事がで と脱グローバル化が産業構造の変化をもたら 問題は「世界的な規模の人口減とAIの導入 互理解」「信頼」というベースの感覚が、 ることが予測され、 ではあるが、職業選択や働き方が大きく変わ 「キャリア」 人口減少問題の本が多数、 には大きくずれている 「障」が課題となる。 (的に少数の高賃金のテクノクラートと、看 !の先が人口減であること。考えるに介護職 者だけが両極に残って、 時代背景は大よそそのようなもので、 や介護など低賃金・重労働のサービス業従 福祉の現場で「実践」 新旧の言葉があるが、これらに 現政権の 中間層の雇用が空 出版されている。 「働き方改革」 「関係性」 旧相

2000年12月12日第三種郵物承認 毎月(1・2・3・4・ ・6・7・8の日)

見をください

(やまだのかかし)

れたものとなっている。悲観論ですが、ご意 現場とは(支援者との関係で言えば)かけ離 生社会」の趣はテレ

ビやマスコミのフレ

ا لا 兵

(以前からですが)、

念が方向づけられ

施設福祉」「サービス」へと「支援」

中で語られるだけで、当事者たちの生活の

日中活動支援よりの報告 生活介護・児童支援・短期入所

共働舎花の会 2017年度 事業報告

2016 年度より「支援の改善」を挙げて取り組みを行ってきました。しかし、メンバーの怪我やトラブルが続き、毎月の事業所別会議にて各ワーカーの「気づき」を共有する時間を作り、改善を図ってきました。引き続き、メンバーの思いに寄り添う実践をめざしていきます。

生産活動においては、漬物の作業場にビニールカーテンを設置、菓子・漬物作業場の給湯器の整備を行い、衛生面での改善を図りました。また、販売ニーズを把握するため売上をデータ化しました。2017年度の売上にはあまり反映されませんでしたが、今後に向けてのベース作りができました。2018

年度は、結果が伴うよう取り組んでいきます。

地域で安心して生活できる環境作りについては、 メンバー・家族の高齢化に伴う課題が表面化し、共 働舎花の会全体で、また、関係機関を交えて情報共 有しながら対応を行ってきました。全ワーカーの協 力があっての対応だったと思います。福祉サービス の活用だけでは解決しない問題など課題は多いので すが、メンバー・ご家族のニーズの把握、各機関と の連携強化など、個々に合わせてメンバー

の生活を支えていける態勢を作っていきます。

(日中活動支援事業 山口 由美子)



第2共働舎花の会 2017年度 事業報告

2017年当初の事業計画に加えて、情報共有、支援力の向上、感染症対策について重点的に取り組みました。特に感染症対策については、ご家族の協力を得ながら、共働舎花の会、第4共働舎花の会とも連携し、集団感染を防ぐ事ができました。

第2共働舎花の会はリサイクル、ショップ、農作業、花配達、軽作業、販売、配食、パンなどの作業があります。班ごとに担当する作業が割り当てられていますが、実際にはメンバーが希望する様々な作業に従事できるように、班の枠組みに縛られずに作業をしています(食品は衛生上の観点から固定されたメンバーになります)。様々な作業を経験する事で、メンバーが役割や自信を持ち、地域の中で充実

した生活が送れるよう、支援をしていきたいと思います。

生産活動では、リサイクル・配食の売上は順調でしたが、職員の退職に伴いパンの製造を 2018 年度に入って休止する事になりました。楽しみにされていた方も多く、製造再開に向けて努力をしております。現在、美味しい試作品ができあがっていますが、生産数を増やすための取り組みをしているところです。

その他の生産活動についても、まだまだ課題は山積していますので、2018年度以降も課題に着実に取り組んでいきます。

(第2共働舎花の会 成瀬 修)

第4共働舎花の会 2017年度 事業報告

2017年度は、他事業所からの異動メンバー6 名、新メンバー1名、「こすもす」の定員変更(6名 ⇒12名)という体制でスタートしました。

一人ひとりに応じた自立、自己実現に向けた支援を目標にしましたが、環境の変化から落ち着かないメンバーへのサポートには悩む場面がたくさんありました。本人の思いにどう向き合い寄り添っていくのか? 家族やGH世話人とも連携していく事を継続します。

地域での店舗活動は近年売上が伸び悩んでいます。 土曜開所日にも開店して新たな顧客獲得をめざすな どの取り組みを行いましたが、まだまだ工賃改善には不十分でした。活性化の一環として「こすもす」の改装を計画していました。改装費の確保の目処が立っていませんでしたが、日本郵便年賀寄附金、花の会、家族会、後援会からの協力を頂く事が決まりました。

2018 年度は、改装を一つの契機として地域での 店舗活動の活性化に繋げていく事が目標です。 また、すみれ・ラベンダーを第4共働舎花の会に編

入し、より一層の連携強化をめざします。

(第4共働舎花の会 牛嶌 亮)

あじさい クラブ・さくらクラブ 2017年度 事業報告

児童の通所支援に事業として 取り組み5年。2事業所ともほ ぼ定数を超え、受入の拡充が課 題となっています。2017年度 は定数を5名増員し受入の拡大



を行うとともに、事業所の増設を目指しましたが 実現までは至りませんでした。

社会状況の変化による支援児童の増加に対応し たいと、スタッフ一同で努力していますが、実り あるものとなっていません。今後も継続して取り 組みます。

同時にスタッフの拡充についても、継続した取

り組みを今後も行っていきます。

「療育」という「児童への支援」の家族の期待は 大きいものがあり、できるだけ応えていけるよう 個別性や教育・保育との連携、地域との連携を大 切にしながら、関係発達を通して成人期へのバト ンづくりを継続して行っていきたい。

家族支援について希望や必要を聞いており、ど のような取り組みを行うか、 皆さんと一緒に考えていきた いと思います。

(さくらクラブ 平田昌史)

ラベンダー 2017年度 事業報告

2016年2月、6名で事業を立ち上げ、7名に 拡充。南の拠点としての基盤づくりという目標は、 基礎作りの段階に留まりました。近辺の事業所と の連携もこれからの課題です。

ワーカーの体制の整備と共に、メンバーの居場 所感や自立意識の醸成を課題に、年間の取り組み を行いました。不十分ではありましたが、法人内 での南部事業所として連携を深め共通作業の拡大 や行事の共催等を通じて、連携の維持発展を図り ました。

地域でのバザーの開催は実現できませんでした

が、地域のお祭りや避難訓練等を通じて冠地区で の関係を構築できました。

支援の改善に日中活動全体で取り組みました。 さくらクラブが横にあり日常的な児童との接触が メンバー各自の中に「自覚」をもたらすのか、年 齢や立場や愛着に大きな影響を与える事も 発見できてきました。さらに「労働」や 「地域」についてメンバーと共に考え、

(ラベンダー 渡邊 朋幸)

レスパイト(短期入所・日中一時支援事業)

2017年度は、中心的な存在であった職員が 不在となり、職員間でのチームワークもうまくい かず、意思の共有を図ることも難しい年でした。

下半期にはさらに退職者もあり ましたので、人員不足から利用 者受け入れ数が減少し、利用希 望に応えきれず、ご迷惑をおか



けすることになりました。他事業所や他の業界と の人材の獲得競争の中、職場にとって最も大切な ものは「人」であると改めて感じた 1 年でした。

2017年度 事業報告

行動できたらと思います。

お互いが「プロ」としての自覚を持ち、相互に 尊重し合える組織を築いていく必要性を感じてい ます。個々の職員の『リーダーシップ、仕事への 責任感、チームワーク、専門知識の習得、支援力 の向上』とともにチームとして、『お互い を尊重し、信頼し、助け合える組織』 にしていきたいです。

(レスパイト 廣橋





晴天に恵まれた、花の会運動会

4月28日(土)

新年度になり、花の会恒例の運 動会が、高槻支援学校のグラウン ドをお借りして行われました。運 動会が行われる週明けから天気が 心配されていましたが、夏日の



桜が咲き誇る晴天

ような快晴の中、個人種目、団体種目とそれぞれが 楽しそうにしている姿が見られました。ご家族の参 加も多く、パン食い競争や玉入れなど普段運動する 事が少ないという事もあり、皆さん怪我をしない程 度に、子供に帰った気分で参加されていたのではな

いでしょうか。特に盛り上がったのは、最後のリレー。 ワーカーにメンバーとバトンをつなぎながら、みん なが必死になって走っている様子が、より一層盛り 上げていました。お昼の休憩時間には、HKU の皆 さんに踊りを披露していただき、メンバーも楽しん で踊っていました。

何より、大きな怪我や事故がなく、 無事開催する事ができてよかったと 思います。

(第2共働舎花の会 田中 弘樹)































第50回花の会パザー、盛況でした!

ご協力、ありがとうございました

5月20日(日)

第50回 花の会バザーが、盛大に開催されまし た。前日準備、当日と雨の心配がありましたが、天 候も良く、春とは思えないほどの暑さの中であった にもかかわらず、朝早くから長蛇の列ができ、少し 早く開場するほどの人気ぶり。地域の方々の「花の

会バザー」に対する期待感が大きい事を実 感しました。結果、最終的には700人を超え るお客さんが来場し、売上も 160 万円超と なりました。「物品の量が少ないのではない か」という声もありましたが、何とか例年程 度の売り上げを確保できた事はうれしく思い ます。

バザーの担当が初めてだったという事で、 色々不手際がたくさんあったと思いますが、 何とか皆さんのお力で無事に開催する事がで きました。 ここ数回 は、会場の 広さ(特に 来場者の白







転車置き場など)の問題もあり、イベント的 な事ができない事もあって、メンバーの楽し みが少し減っていますが、模擬店の飲食店で のお買い物は楽しみの一つになっているよう です。「今日はあれ食べよ」・「これがいいか なぁ」・「ケーキはあるのかなぁ」 など始まる 前から食べ物の話を楽しそうにしている姿は、 いいものですね。また、秋のバザーに向けて、 しっかりと準備をしていきたいと思います。

(第2共働舎花の会 田中 弘樹)



一泊研修旅行の一幕

メンバーのストレス表現の -つに飛び出しがある。

私の体力ではダッシュで追いかけ捕まえることは 不可能。ではどうしているのか。メンバーさんにも よるが、声が届く距離であれば、「おーい」などとゆっ たりした声でトボトボ近づく。また距離が離れてし まった場合は急いで追いかけていることを悟られな いよう、こちらの様子を確認するため振り向いた時 はトボトボ歩き、ある程度の距離は保ちつつ徐々に 近づく。そしてメンバーさんから話しかけてくるの を待つようにしている。追いかけられると逃げたく なるからだ。

ここで面白かった?エピソードを紹介します。時 は2016年9月、場所は一泊旅行でのUSJ。 私は 旅行前日より突然の腰痛でまさにトボトボと歩くの

6月3日(日)

がやっとの状態だった。それでも何とか乗り切れた なぁ、後はバスで帰るだけという時のこと。土産店 近くにいたシュレックと写真を撮ろうとメンバーY さんに声をかけシャッターを切ろうとした瞬間、緊 張したYさんは「トゥルル~」と叫び、人混みの中 ヘダッシュ。 もうすぐ Y さんが確認できなくなると 思う中、たたずみながらとっさに出た言葉が「Yさ ~ん! さよ~なら~!」。 すると Y さんは突然足を 止め、振り返り、「さよならじゃないんだよ!」と私 に抗議。そこに何と、なな何と、知らぬ間にさっき のシュレックが追いかけてくれており、両手でYさ んをハグ!

結果オーライ、シュレックさんにハグされている Y さんの写真を撮ることができました。(笑)

(ラベンダー 弓場 律子)

6月18日の大阪北部 地震やその後の大雨の 影響で、地域のイベン

トが中止となったもの もあり、残念です。

今後も、地域のつな

がりを大切に、復興や

活性化に取り組んで

いきます。







5月26日(土)イオンガレ-

地域交流のひろば

地域で開催されるイベント・行事 に参加しました!









来場者:約130名 授産品の売上: 67,800円









6月3日(日) 犬猫讓渡会

地域生活支援よりの報告 グループホーム

フラワーホーム 2017年度 事業報告



【総括】

2017 年 5 月に相次いで 3 名のメンバーが亡く なられた。体調の把握、救急対応について看護師と 協力して研修の場を設けた。感染症については日中 の管理者と会議を行い、対策をたてたことで拡大予 防に繋がった。

2017 年度末に北大樋町、津之江北町への移転を 実現し、定員は1名増の101名となった。北大樋 町への引っ越し後に棟が離れていた「ひこぼし」「つ くし」の引っ越しを行うことで、住みやすく支援し やすい環境を整えた。建設が遅れている春日町は 2018 年 6 月を目途に着工予定である。これによ り、消防法に対応したスプリンクラーの設置等の取 り組みはこれで一段落する。次に、現状で使用でき る府営住宅の活用を検討し、定員増に繋げる。

エリア体制を更に確立させるために地区担当を設 けたが、業務内容を含め明確な指示がなかったため、 十分に活かせなかった。ただ、地区担当を入れたこ とによりエリア責任者と連携して円滑に業務ができ るようになっているので、機能できる体制を築いて いく。2018 年 9 月を目途に地区担当者が2~4 ホームの世話人のリーダーシップをとり、人材育成、 ホーム運営、フォロー体制が確立できるように計画 している。

大きな課題であった人材の確保は、支援職 21 名 が新たなスタッフとして加わった。人材確保に努め たものの、退職者が10名おり、11名の増員に留 まった。今後は定着できるような支援体制を築いて いきたい。引き続き、求人広告、派遣会社、人脈を 使った紹介で人材の確保を図り、世話人の層の厚み を図っていきたい。

人材育成は、自分たちにはどのような研修が必要 か、何を学ぶかを皆で考え、内部研修の質の向上を 図るとともに、メンバーやご家族を講師に招き視点 を変えて学べるようにした。

「ぽこ」1 階にて職員が業務時間外に勉強会を開 催したが、その後の懇親会にて転倒し職員が負傷す る事故が発生した。また休憩時間に十分に休めない と世話人から指摘があった。労働環境の改善を図る 必要がある。

【事業成果】

- 1、2018年4月に「ブルート」、「おりひめ」、 「ヒマワリ」、「おりおん」を北大樋町に引っ 越しさせた。「おりひめ」の定員を3名から5 名に変更し、「オリーブ」の定員を5名から4 名に変えることで住環境を整えた。
- 2、中長期的な事業運営を展望する体制の構築を図る。
 - 2エリアが自立して運営できる体制づくりを 進めた。地区担当の業務範囲、役割を明確に できなかったため、十分な機能は果たせなかっ たが、エリア責任者と連携して業務に取り組 むことで、エリア責任者の事務業務の軽減に 繋がった。
 - メンバーが希望する地域での生活のかたち、 支援の方法についてエリア責任者を中心に論 議を進めてきた。地域のお祭りの参加は恒例

になっている。家族の協力もあり、参加した メンバーも手伝いや祭りの雰囲気を楽しめた。

3、支援体制の確立

- 求人誌掲載、職員紹介、派遣会社からの紹介 によりスタッフ確保ができたが、人材不足の 解消には至らなかった。
- 内部研修を月1回実施する。新人研修を3回 に分けて開催した。対象者が少なかったので 人数を見て実施方法を見直していく。
- スケジュール調整が困難で、コンスタントに 研修に参加することができなかった。重度障 害者支援従事者研修は5名が受講し、資格を 得ることができた。
- ・当事者会として「四季路」を立ち上げた。世 話人が発起人であったが、回を増すごとに各 メンバーが役割を持ち、会議でも活発に意見 が出るようになっている。メンバー主体とな るように模索し、世話人の支援力の向上、新 たな視点、気付きが行える場にしたい。

4、事務センターの業務強化を図る

- エリア体制が機能するよう一定の援助はできた。
- ・スケジュール調整、報連相、特に連絡体制が 確立できなかった。

【事業課題】

- よりよい住環境の確保と移転計画を進める。
- 春日町の物件に計8名が住めるホームを建設 し、府営住宅からの住み替えを行う。
- ・同様に今後も物件を探し、順次住み替えを進 める。
- 新地区担当制の確立。業務内容の明確化。役 割分担し、業務を分散させる。人材育成に繋 げる。
- 防災、防犯への取り組み(設備、マニュアル 整備、スタッフ意識の向上)。
- 自立したエリア運営を進めるために、エリア 責任者と地区担当者の権限、ポジションや担 当部署による業務内容と責任の範囲を明確に するとともに体制構築のためのエンパワメン 卜。
- ・ 職員の長期休職、急な欠勤にも対応できるス タッフ体制の構築。
- ・2018 年度に新ホーム開設するために必要な スタッフの確保と育成。
- ・支援の均一化と支援力の底上げ、定着率を上 げるために、支援者が相談できる体制をつく
- 内部研修の質の向上、新人、中堅、監督職研 修の実施。
- 受講計画を基に外部研修の計画的な活用とス ケジュール調整。
- 事務センターの職員減に伴う協力体制の構築 と業務内容の見直し。
- ・メンバーの健康を維持し、救急対応ができる 体制の構築。

(フラワーホーム 徳野 裕季)

グループホーム 思い出に残るエピソード

THE NAT

★が入職して2年目に配属された「ひこぼし」というホームで利用されていた K さんについて記載させていただきます。K さんは、「ひこぼし」で最年長で私とも11歳年上でありましたが1番気が合うメンバーでした。

★さんは、気持ちが優しく最年長という事で、他のメンバーとも良い関係性ができていましたが、そんな K さんにも "しんどい" 部分があったのです。それは、無断でホームを飛び出し日が暮れるまでホームに帰って来られない所でした。私が配属される以前にも事前に引き継がれていましたが、実際にホームを飛び出されると探す事が困難でした。当時の「ひこぼし」は、Kさんの自室がある部屋と世話人が常駐する部屋の距離があるため、朝迎えに行った時には既に飛び出された後で、探しても本人を見つける事が困難でした。約6年間で偶然に発見できたのが3回ほどでした。

そのような事が、「ひこぼし」で勤務している 6年間で数十回起こったため、私以外の世話人 もどのような支援を行ったら良いか色々と考えま した。そして出た支援の方法は、無断飛び出しは K さんの個性の一部と考える事と、本人にはできる 限りホームがある天川住宅以内で留まって頂くよ うにしてもらい、結果現在までの約2年間は遠方 まで行かれる事がなくなり天川住宅内より出られ ていません。

この様に世話人に心配をかける事がありましたが、私との繋がりは強いものになり普段では私の手助けをして頂く事もたくさんありました。そんな K さんですが今年で 72 歳になられますので、今後も健康に気を配りながら世話人の手助けを続けてほしいと思います。 (世話人 川口 雅晴)

友 花 含

笑い声・おしゃべいが止まらない! 楽しい





ボウリング大会

毎年、夏の活動は京都方面へハイキングに出掛けています。今年は地震・大雨の影響で急遽、室内で楽しめる活動となり、ボウリング大会を開催しました。 久しぶりのボウリングとあってか、皆の表情はドキドキ・ワクワクモードに入っ

ている様子。14 名の参加者で 5 レーンを借りランダムな組み合わせでスタート!! ゲームが始まるとカッコいい投球ポーズでストライクめがけてコロコロ!!! 予想通りのストライクにガッツポーズ!スペアには歓声のポーズ! ガータにはいい笑顔!と・・・・競い合う事が苦手なはずなのに?

7月8日(日)

いつの間にかテンションアップ・ヒートアップ((´∀`))で少しでも高い点数を取ろうと真剣な眼差しも垣間見られ、笑顔と笑い声は終始響いていました。

友花会活動は月に2回、主に電車移動 で様々な場所に出掛けています。毎回ハ

ラハラ・ドキドキは付き物ですが、各々の個性を 知り、遊びの中から何かに挑戦する力も見過ごす 事ができない活動でもあります。そして何よりも チームワークが最高の友花会です。

(世話人 津田孝子)

四季路

発足して 1年 になります!

四季路がはじまり |年 ということで、今回感じたこと、よりかえったことを述べるということになりました。 撮話は、宮田町のほご(ケループホーム をま) | 下の会議室、開話な郊外の中にあってと、はじめいったときは、ル配してたといったが多にしていました。 地図をおしていましたが、かっての花の会時代にのはありときによく通いでは、かっての花の会時代にのできないといったが、かっての花の会時代にのできなど、たいたいとんなことがらははまり 四季路の活動がよくしたように、たいとんなふくいきなのかどにまがのものなのかつのあかとれているとした。 としているとはないでした。 祭をみて、今日のいっており、ないとなくがら発しました。 はったりにはいるとはない。 ではいるにはいるが、たてスタッフがらの回ちがったてスタックインが、かしました。 お屋をはたして いっきまり はているのかい 交通はからてました。 おりとし、初のイベントとして、ラウンドワンのカラオケでは、ことなり、それまでにいっきまり、はをたべるのかい 交通によいるのが、ないのがらないには、はなの交通が用や途ち、ことがよりには、公女の交通が用や途ち、ことがよくるのか、なった。 はない スタクタイル、アウィルはいるのでは、はなの交通が用や途ち、スタイル、アウィルによりというスタイル、

四季路

宮本 洋 さん (フラワーホーム)



宮本洋さん考案のマーク

ス人な特ちょう的なよう日になったのも四季路のある日の特ちょうだり、最近のシーズン集中形の交通区間(年3回の持行など特別で加入外域が1日間と近くの交通が用いなる一方、年3回話行に交通区間を集中させる形分が1月の一方でにより近場で、変化がつけれるという一面と思しました。次の行事、何しようか、次はホーム見学、(北大心町)と計録性がもてるのも四季路、ただ、会議中以をと、こうすがの会などの変化、差別化は目立たが、オリジナリティの母ちょうとして生かす「四季路」が、スの目指すところと考えています。

・四季器 掲 所(夢幸)は フパーフ キーム ほご、(〈大支通アクセス) (まって へは、 会難線の 最考り 駅 西日本旅客鉄道 東海道本線 (資称路線名 JR京都線) 接達 富田駅 (※ 阪急電鉄 京都線 宮田駅 上り京都方面側 電御出口 で約0.2 kmで連絡駅)上り線側北側出口の駅前から、 路線パス(高機市 交通部 動機の連絡 のリガラ 最多リバス停留所 宮田 公民館前バス停留所下車 約0.2 km、または迎礼橋バス停留所下車 約0.4 km

就労相談支援よりの報告

高槻市障がい者就業・生活支援センター 2017年度 事業報告

国事業になり 11 年が経過し、登録者は 1,230 人を超え、年間約 100 人の就職者の出るセンターとなりました。2016 年度には全国 10 位に入る評価を頂き、その成果もあり 2017 年度は就業支援ワーカー(精神障がい者担当)の増員、2018 年度は主任職場定着支援担当者の配置も認めてもらえました。これはご本人の努力と、スタッフの実直な支援、地域連携の賜物であると感謝しています。

しかしながら登録者は増え続け、さらに高次脳機 能障害の方の復職支援や、難病・大学生の相談も増 え、これ以上支援量を増やす事は難しく、支援の質 を高め、ネットワークによる地域全体での支援体制作りを重視した取り組みを実行しました。自立支援協議会では計5会議に参画し、就労支援ネットワークでは就労支援基礎講座、精神、就労移行サビ管、B型、サポート教材、企業、就労者交流と計7つのワーキングが活動しました。特に企業ワーキングチームを新たに立ち上げたので、今後はさらに企業も参画する支援ネットワークでより良い支援を行いたいと思います。

(高槻市障がい者就業・生活支援センター

陸野 肇

相談支援センター スキップ 2017年度 事業報告

2017 年度は 2 名体制でスタートしました。 2013年度から開始となった「サービス等利用計画」 への対応を行うとともに、本来の相談支援としての 役割を担っている「委託相談」として、身近に相談できる事業所をめざして取り組みました。

人員の減少により、新規相談に対応 する事が難しくなっており、現在は計 画相談については、緊急対応でない場 合は新規対応をお待ちいただいている状態です。

2018 年度は増員を予定しており、随時対応できる体制を作り、障害のある方に寄り添う事で、地域で安心した生活を送り、「願いや夢」を実現するためのサポートを行う事ができる相談支援事業所をめざしていきたいと思います。

(スキップ 佐藤 智昭)

相談支援センター あじさい 2017年度 事業報告

2017年度は、移転と相談員の交替がありました。 同時に、これまでの児童の計画に加えて成人の計画 を作成する事になり、現在は児童31名、成人37 名計68名の担当をしています。

障害のある方が様々なサポートを活用しながら自 分らしく主体的に暮らすために必要な支援を受けや すくなるためのサービス等利用計画を 作成し、安心して過ごし続けるための 相談窓口となるように業務に取り組ん でいます。 しかし 2017 年度も新規計画の作成依頼を複数 いただいていますが、殆ど受ける事ができていません。今後増々需要が高まると思われる一方で当事業 所のみならず全国的に相談支援事業所の業務が飽和 状態になっています。さらに 2018 年度より支援 の質を評価するための加算が増えた反面、基本単価 の変更(2019 年度から基本単価減額)があり、 支援の質の担保と事業運営について、今後どのように対応していくかが大きな課題になっています。 (相談支援センターあじさい 前川 時恵)

第3共働舎花の会 2017年度 事業報告

2017年6月に第3共働舎花の会において虐待と思われる事象があり、高槻市への通報により、メンバー・ワーカーへの聞き取り調査の結果、暴言等の虐待があったと認定されました。認定を真摯に受け止め、このような事態を招いた事について、事業所における虐待についての意識の低さ、職業倫理の不徹底、支援技術の未熟さがあったと痛感しています。二度と虐待事象が発生しないよう虐待防止に取り組み続けます。

就労移行支援は、定員充足に向けてパンフレットを一新し、営業活動に力を入れましたが、2016年度よりも稼働率が下がりました。就労移行者数は、5名(2016年度5名)でした。2018年4月の就

労者を含めると7名となりました。OBの定着支援のウエイトが大きくなっています。

就労継続支援 B 型は、工賃増額をめざして、生産活動に力を入れてきました。2016 年度よりも売上を伸ばす事ができ、合わせて材料費などコスト削減に取り組み、収益を増やす事で工賃を増額できました。9月からはワークたんぽぽの新しい生産活動

『ジェリーズポップコーン』の製造を始めました。 まだ稼ぎ頭ではありませんが、積極的にイベント等へ



出店し、2018年度は平均工賃2万円をめざします。 (第3共働舎花の会 佐藤 智昭)

就業生活支援センター フォルツァ 2017年度 事業報告

事業開始から丸6年が経過しました。フォルツァ にとって2017年度は、激動な一年でした。2016年度は就労移行の定員割れと自立訓練の通所率の低

さにより大幅な報酬減となりました。改善するために事業を見直し、11月に定員の組み換えと10月より2階のみで運営する事にしました。下半期には定員を満たす程回復し、赤字を解消しつつあります。

しかし、10月に実施された高槻市による実地指導では、過誤の請求を指摘され報酬の一部を返金す

る事態となり、事務処理等課題が残されました。また、2月末で管理者が退職し、支援員が臨時で代理を務める事になりました。

激動する一年を乗り越える事ができたのは、 フォルツァのチームワークカの強さだと思い ます。

就労移行者数は、3名でした。前年度が6名で したので就労者を減らす事になり、2018

年度の報酬改定の影響を大きく受ける事になりました。 (就労・相談支援事業 佐藤 智昭)

サポートセンター はいびすかす 2017年度 事業報告



移動支援・居宅介護・同行援 護・重度訪問介護・行動援護どの 事業もニーズがあるのに応える事 ができない状況が続いています。 早期に登録ヘルパーを増員させ、 依頼に応えられる体制作りが課 題となっています。

登録ヘルパーを獲得する手段の一つであるガイド

ヘルパー養成研修が 2 年間開催できていません。 2018 年度は、複数回開催し、ヘルパー確保に努めます。また、ガイドヘルパーだけでなく居宅介護等の支援に入れるヘルパーを確保し、居宅介護等の実績を増やしていきます。毎年同じ事を書いていますので、2018年度こそは、状況を好転させたいです。

(はいびすかす 佐藤 智昭)

全国就業支援ネットワーク第20回定例研究・研修会の報告

2018年6月1日(金)・2日(土) の2日間、本会に参加させていただいた。 会場となったのは、NHK大河ドラマ「西 郷どん」の影響で注目が集まっている鹿児 島県。「変革~制度の枠組みを超える/変 える」が今年の研修会のテーマだった。

テーマどおり1日目は、制度が次々確 立・整備されていく中で、制度の枠にのら ない「ホームレス」「罪を犯した人たち」 などの居場所づくり・社会復帰をどう支援 するか。基調講演や分科会を通し、制度に 翻弄されず、人との関係づくりを大切にす る「伴走支援」が必要であることを学んだ。

2日目は、ポスター発 🔦 表から始まり、その後2 つのシンポジウムがあっ た。1つは、鹿児島の各



障がい者就業・生活支援センターの取り組 みのお話があり、離島も管轄内である為、 移動手段は飛行機ということに地域の強い 特色を感じた。2つめは、「施策の流れと 立ち位置」ということで、厚労省に対して 「定着支援事業」「雇用の質」等の問題提 起が障がい者就業・生活支援センターや就 労移行、訓練校の各代表から挙がっていた。 その他、制度を作り上げてきた先人の方々 の記念鼎談など、盛り沢山な内容の2日間 だった。

個人的に印象に残ったのは上記で挙げた 「伴走支援」。社会的孤立を防ぐために、 積極的にその人の元へ出向き、一緒に動き、 関係性をつくることが何よりも大切である こと。当法人の理念である「共に学び、共 に働き、共に生きる」を体現化した支援だ と感じた。自身の支援でもこの姿勢を心が け、日々の業務に従事したい。(次回は、 新潟県で開催予定)

(高槻市障がい者就業・生活支援センター 佐伯 志保奈)

当事者さんとともに、地域企業にも支援の広がりを!

2017年12月1日付で、高槻市障が い者就業・生活支援センターに配属になり ました大橋正也と申します。

当センターにお世話になるまでは、社会 人教育や専門学校、自治体の就職支援、就 労移行支援事業所などでおよそ20年間、 キャリアコンサルタントとして活動してま いりました。

当センターは、障害のある方々の就業と 生活面の相談が中心ですが、当事者さんは もちろんのこと、地域企業との関係づくり にも力を注いでいます。

当センターが事務局を担っている「たか つき・しまもと障がい者就労支援ネット ワーク」に昨年度から企業ワーキングチー ムを立ち上げ、陸野所長と大橋が企画運営 に参画しています。

活動実績の一例として、今年の2月と7 月の2回にわたり開催した「障がい者雇用 に関する意見交換会 (勉強会)」の取り組 みを、ご紹介したいと 思います。



障害者雇用をおこなっている企業はそれ ぞれに課題や悩みを抱えています。こうし た課題や悩み、そして、好事例を持ってい る企業をコーディネートし、さまざまな意 見を交換し合う場を実現できたことは大変 意義深く、仕事のやりがいを感じた瞬間で もありました。

これからも障害者雇用を通じて付加価値 の高い仕事を実現し、当事者さん、当セン ター、花の会、地域社会へと広く深く貢献 できればと考えています。

今後ともよろしくお願いいたします。 (高槻市障がい者就業・生活支援センター 大橋 正也)

法人よりの報告

「2017年度 法人本部事業報告」について 《共に学び 共に働き 共に生きる》 - 理念に基づいて-

「普通に生きていくこと」が難しい時代。「障害 者」として生きるのではなく、個人として生きられ る地域を創っていきたい。そんな「共生社会」を夢 見るだけでなく、「共に」創っていくことが私たちの 活動の姿勢です。この理念を地域に広げ、理解が深 まったであろうか。また、法人に集うメンバーの自立 や社会参加をすすめる活動を展開できたであろうか。

法人設立 20 周年を迎え、これまでのまとめがで きる地点に立ち、振り返りを行いたいが、状況は、 そうやすやすと思うようにはすすんでくれません。 総合支援法の改正を目前にして、事業も3か所のグ ループホームの建設、就労支援・相談支援の組み換 え、児童や生活介護での受け皿の準備等、各部門で の課題を持ちながら、「支援の立て直し」も加えて、 「重点課題」(事業展開)の内容の充実を図ること にしました。概要としての事業の進展と、それに伴 う支援の強化の点で、改善の余地を残すこととなり ました。

【理事会・評議員会】

理事6名、監事2名、評議員13名(定数通り) 理事会:6/1(金)、6/18(日)、9/1(金)、11/2(木)、 12/10(日)、1/5(金)、3/4(日)の計7回開催しま

評議委員会:6/18(日)、3/4(日)の計2回実施しま した。

【監事監査】

2017年6月3日、監事による監査を実施しま した。概ね適正であるとの結果ですが、意見とし て「計算関係書類において、経常増減差額の赤字、

就労支援事業収入の前年度よりの減、職員待遇改 善による人件費率の激増、就労相談支援拠点区分 の事業活動の収支の赤字について、緊急に効果的 な対策を実施することを望みます。事業数が多く なっているので、整理に間違いがないように処理 されたい。特に、小口現金や利用者の金銭の管理 について厳重に行うように改善してください。」と の指摘を受けました。

【「法人重点目標」の実施と課題】

下記の項目について、取り組みを行いました。

- 1、理念に基づいた支援体制の確立
- ① 運営協議会の設置
- 虐待防止委員会の設置。
- ③ 活発な意見交換が実現できる基盤づくり
- 2、人を育てる組織風土の展開
- ①「事例検討」の研究 ②アドラー心理学の研究
- 3、地域社会との連携と社会貢献の実践
- ① 高障連・事業所連の運営参加の強化
- こども食堂の設置運営 未達
- 学習講演会の実施 「障がい者福祉施設従事者 による障がい者虐待対応研修」
- 4、社会資源を創り出す諸課題への取り組み強化
- 地域生活システムの構築としての GH (地域生活) 3か所の設置。1か所未達。
- 日中活動支援の見直しと事業所設置(労働と介護) 生活介護事業所は、新規受け入れと共にメンバー の高齢化への対応を同時に行う。工賃の改善も同 時に進めるという、トリプルアクションの実現を めざす。
- ③ 児童への支援の強化(教育と支援)
- 5、活力と持続性発展性のある組織づくり
 - 法人ガバナンスの確立(理事会の改組) (1)
 - 総務部の充実(事務体制の改良)
 - 法人中期計画の点検

(業務執行理事 成瀬 修)

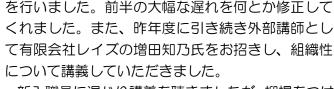
法人新入職員研修を実施しました

5月12日(土)、2017年7月以降に入職した 職員 23 名が、共働舎花の会での法人新入職員研修 に参加しました。

今年度の新入職員研修はオリエンテーション、施 設紹介と時間が大幅に遅れたことと、お弁当の到着

も遅れたことが課題でした。時間設 定の見直しと、今後は交通状況を考 慮してお弁当が早めに到着できるよ うに予約を行います。

理事長、各事業所の施設長が講師 となって法人の理念や人権、障害者 運動、各種制度、障害特性等の講義



新入職員に混じり講義を聴きましたが、抑揚をつけ

たり話す速度を調整したりと、講義の 内容はもちろんですが、伝え方の手段 としても学ぶところが多々ありました。 参加者も積極的に受講され、各々に気 付きがあり、支援を思い直したり、向 上に向けて前向きな意見をいただきま した。(フラワーホーム 徳野 裕季)



2017年度 社会福祉法人 花の会 決算報告書

第一号第三様式 事業区分資金収支内訳表 (自)2017年 4月 1日 (至) 2018年 3月31日

		勘定科目	日中活動支援	地域活動支援	就労相談支援	合 計	内部取引消去	事業区分合計
事	収入	事業活動収入計(1)	448, 370, 044	395, 646, 434	179, 784, 657	1, 023, 801, 135	-15, 721, 782	1, 008, 079, 353
* 活	支出	事業活動支出計(2)	390, 932, 376	372, 138, 027	179, 803, 460	942, 873, 863	-15, 721, 782	927, 152, 081
動		事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	57, 437, 668	23, 508, 407	-18, 803	80, 927, 272		80, 927, 272
施	収入	施設整備等収入計(4)	2, 509, 286	230, 768, 000	1,806,000	235, 083, 286		235, 083, 286
製整	支出	施設整備等支出計(5)	3, 383, 729	248, 012, 272	1, 852, 080	253, 248, 081		253, 248, 081
備		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-874, 443	-17, 244, 272	-46, 080	-18, 164, 795		-18, 164, 795
. ÷	収入	その他の活動収入計(7)	1, 860, 738	1, 437, 917	16, 240, 839	19, 539, 494	-12, 501, 000	7, 038, 494
活の動他	支出	その他の活動支出計(8)	39, 195, 560	25, 770, 880	6, 283, 299	71, 249, 739	-12, 501, 000	58, 748, 739
0		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-37, 334, 822	-24, 332, 963	9, 957, 540	-51, 710, 245		-51, 710, 245
		当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	19, 228, 403	-18, 068, 828	9, 892, 657	11, 052, 232		11, 052, 232
		前期末支払資金残高(11)	106, 049, 241	210, 334, 602	41, 316, 195	357, 700, 038		357, 700, 038
		当期末支払資金残高(10)+(11)	125, 277, 644	192, 265, 774	51, 208, 852	368, 752, 270		368, 752, 270

第二号第三様式 事業区分事業活動内訳表 (自)2017年 4月 1日 (至) 2018年 3月31日

		勘定科目	日中活動支援	地域活動支援	就労相談支援	合 計	内部取引消去	事業区分合計
+	収益	サービス活動収益計(1)	441, 516, 938	390, 564, 855	179, 579, 914	1, 011, 661, 707	-15, 721, 582	995, 940, 125
活し動ビ	費用	サービス活動費用計(2)	390, 236, 136	369, 505, 386	181, 471, 861	941, 213, 383	-14, 031, 982	927, 181, 401
ス		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	51, 280, 802	21, 059, 469	-1, 891, 947	70, 448, 324	-1, 689, 600	68, 758, 724
活サ	収益	サービス活動外収益計(4)	6, 853, 106	5, 219, 336	204, 743	12, 277, 185	-200	12, 276, 985
動ビ	費用	サービス活動外費用計(5)	6, 341, 962	6, 425, 850	98, 062	12, 865, 874	-1, 689, 800	11, 176, 074
かス		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	511, 144	-1, 206, 514	106, 681	-588, 689	1, 689, 600	1, 100, 911
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	51, 791, 946	19, 852, 955	-1, 785, 266	69, 859, 635		69, 859, 635
特	収益	特別収益計(8)	4, 327, 453	5, 672, 000	16, 642, 138	26, 641, 591	-13, 148, 856	13, 492, 735
抽曲	費用	特別費用計(9)	10, 322, 289	20, 730, 366	5, 428, 743	36, 481, 398	-13, 148, 856	23, 332, 542
減		特別増減差額(10)=(8)-(9)	-5, 994, 836	-15, 058, 366	11, 213, 395	-9, 839, 807		-9, 839, 807
		当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	45, 797, 110	4, 794, 589	9, 428, 129	60, 019, 828		60, 019, 828
繰		前期繰越活動増減差額(12)	113, 722, 565	234, 842, 526	45, 840, 564	394, 405, 655		394, 405, 655
越活		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	159, 519, 675	239, 637, 115	55, 268, 693	454, 425, 483		454, 425, 483
動		基本金取崩額(14)						
増減		その他の積立金取崩額(15)						
差		その他の積立金積立額(16)	30, 000, 000	20, 000, 000		50, 000, 000		50, 000, 000
額		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	129, 519, 675	219, 637, 115	55, 268, 693	404, 425, 483		404, 425, 483

第三号第三様式 事業区分貸借対照表内訳表 2018年 3月31日現在

	75 — Mr. 4 1. /km/	7 风旧////// 1 1 1 1 1 1	2010 0,10	1 1 70 1 2		
勘定科目	日中活動支援	地域活動支援	就労相談支援	合 計	内部取引消去	事業区分合計
流動資産	136, 260, 574	239, 267, 768	80, 678, 041	456, 206, 383	-35, 416, 809	420, 789, 574
固定資産	801, 770, 588	624, 753, 942	19, 513, 907	1, 446, 038, 437		1, 446, 038, 437
基本財産	542, 475, 196	223, 575, 820		766, 051, 016		766, 051, 016
その他の固定資産	259, 295, 392	401, 178, 122	19, 513, 907	679, 987, 421		679, 987, 421
資産の部合計	938, 031, 162	864, 021, 710	100, 191, 948	1, 902, 244, 820	-35, 416, 809	1, 866, 828, 011
流動負債	25, 780, 342	69, 521, 693	35, 696, 342	130, 998, 377	-35, 416, 809	95, 581, 568
固定負債	29, 209, 679	362, 750, 887	3, 318, 886	395, 279, 452		395, 279, 452
負債の部合計	54, 990, 021	432, 272, 580	39, 015, 228	526, 277, 829	-35, 416, 809	490, 861, 020
基本金	277, 290, 165	10, 000, 000		287, 290, 165		287, 290, 165
国庫補助金等特別積立金	250, 150, 422	96, 112, 015	1, 908, 027	348, 170, 464		348, 170, 464
その他の積立金	226, 080, 879	106, 000, 000	4,000,000	336, 080, 879		336, 080, 879
次期繰越活動増減差額	129, 519, 675	219, 637, 115	55, 268, 693	404, 425, 483		404, 425, 483
純資産の部合計	883, 041, 141	431, 749, 130	61, 176, 720	1, 375, 966, 991		1, 375, 966, 991
負債及び純資産の部合計	938, 031, 162	864, 021, 710	100, 191, 948	1, 902, 244, 820	-35, 416, 809	1, 866, 828, 011

2018年度 社会福祉法人 花の会 拠点区分資金収支予算書

(自) 2018年 4月 1日 (至) 2019年 3月31日

		勘定科目	日中活動	地域生活	就労相談	総計
事	収入	事業活動収入計(1)	464,867,200	390,458,000	177,723,000	1,033,048,200
業	支出	0129 人件費支出				0
活		事業活動支出計(2)	405,787,200	343,324,000	183,604,545	932,715,745
動		事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	59,080,000	47,134,000	-5,881,545	100,332,455
施	収入	施設整備等収入計(4)	2,320,000	60,700,000		63,020,000
設整		施設整備等支出計(5)	2,000,000	58,616,000		60,616,000
備		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	320,000	2,084,000		2,404,000
そ	収入	その他の活動収入計(7)	3,355,000		6,500,000	9,855,000
活の動他		その他の活動支出計(8)	9,770,000	5,392,500	447,300	15,609,800
Ø		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-6,415,000	-5,392,500	6,052,700	-5,754,800
		予備費支出(10)				
		当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	52,985,000	43,825,500	171,155	96,981,655
		前期末支払資金残高(12)				
		当期末支払資金残高(11)+(12)	52,985,000	43,825,500	171,155	96,981,655

花の会の報告

第35回 花の会総会の報告

6月30日(土)

第35回花の会総会・交流会(10:00~14:30) が高槻現代劇場3Fレセプションルームにおいて開催されました。当初は、6月23日(土)に開催予定でしたが、6月18日(月)に起きた地震により、延期を余儀なくされました。急な変更にも関わらず、大勢の方にご参加頂きました。ありがとうございます。

花の会代表上田よりの開会の挨拶に続き、ご来賓の皆様からご挨拶とご祝辞を頂きました(国家議員2名、高槻市議会議員3名の皆様にご臨席頂きました)。その後、議事に入り2017年度活動報告、2018年度活動方針、2017年度決算、2018年度予算、会則変更、2018年度役員体制の審議がされ、会員の皆様の承認を受けました。その後、花の会後援会の総会が白石副会長より行われ、続いて法

人の 2017 年度事業報告と 2018 年度目標が山田理事長と 各部門の統括より報告されまし た。最後に花の会副代表佐藤の 挨拶を持って総会が閉会されま した(総会出席者数 294 名)。



午後からは交流会が開催され、日中活動メンバーとHKU(花の会家族会有志)による歌やダンスの出し物で大いに盛り上がりを見せました。

今年は、予期せぬ地震により、多くの会員の皆様が不安を抱える中での総会・交流会になりました。 災害時の課題などこれから法人と連携して対策を整理していく必要があります。このような状況に対応するためにも、日頃からの会員の結束が重要だと痛感しました。まだまだ余震が続き、豪雨もあるなど不安が続きますが、皆様と一緒に乗り越えていきましょう。 (花の会 事務長 牛嶌 亮)

2017年度 事 業 報 告

【1】組織運営

①総会 348名が参加

6月17日(土)現代劇場3Fレセプションルームにて第34回花の会総会を開催しました。

②役員会

計5回の役員会を開催しました。

③定例会(日中活動)

計4回の定例会を開催しました。

【2】花の会中期計画の振り返り

メンバー・家族の高齢化、地域生活の充実などの課題に対して 『花の会中期計画』を作成し、それぞれの部会、チームで検討を 重ねてきました。各部会とチームの2017年度の取り組みは以 下の通りです。

- 中期計画3部会
- ① 法人設立検討部会(権利擁護支援の取り組みの検討)

メンバー・家族の高齢化に伴い、成年後見制度への関心が増してきている現状の中、花の会が別法人を立ち上げて法人後見ができるか否かの検討を重ねています。どのような法人が考えられるか(NPO法人、一般社団法人等)、設立の為の必要条件、また、実際に立ち上げて運営していくことが可能か、他団体の事例を見ながら模索中です。次年度は、シュミレーションの結果から立ち上げるのか否かの結論を導き出す予定です。

② 日常生活支援検討部会 (親なき後のメンバーへの支援方法の検討) 親亡き後の支援について検討を重ね、まず、会員 (家族) へのアンケートを実施し、それぞれの家族の具体的な想いを集めました。予想していたことではありますが、やはり、"親亡き後"への不安を持っておられる方が大半という結果でした。

その中で、ワーカーにメンバーへの理解を深めてもらうために①「花の会ノート」の普及②家族とワーカーのコミュニケーションの機会を作るといった意見が出されました。次年度は、どのように進めていくのか、具体化していきます。

また、環境整備や健康管理、金銭管理などの生活支援を、ワーカーがカバーできるのかといった点については、法人職員という立場上"家族と同様に"はできないことがあり(例えば、入院や手術の承諾、財産管理など)誰が、どのような形でその役割を担っていくのか意見交換を行っています。

誰もが安心して生活を送ることができる環境を整えていくことができるよう、引き続き検討していきます。

③ 地域交流検討部会(地域との交流の検討)

日中事業所、グループホームなどをメインに、花の会をもっと地域の皆様に知ってもらうために交流の機会を設定することをめざしました。活動内容のチラシを作成して花の会バザーで

配付をしましたが、それ以降具体的な取り組みや計画が設定できていません。2018 年度は再度、どのように花の会を地域の中で浸透させるのか、計画を作成することが目標になります。

- 早期かつ継続的な取り組み課題(4チーム)
- ① 集会の方法と場所の検討チーム

会員数の増加に伴い、全体で集まる場所が手狭になってきていることから、集会(主に総会・交流会)の場所と開催方法の検討を重ねてきました。会員が今よりも増加した時を想定し2019年度は、現代劇場中ホールでの総会を試行開催することを検討中です。また、花の会定例会の開催場所についても検討をしていく予定です。

② 生産活動への協力チーム

生産活動の活性化をめざし、ます家族に花の会でどのような 生産活動をしているのかを知ってもらうために、広報部を立ち 上げ、広報新聞を作成しました。お菓子やパン、バザーなどを 題材に4回発行しました。今後は、販売やリサイクルショップ なども紹介する予定です。広報新聞を生産活動に興味を持って もらうきっかけにし、花の会全体で生産活動を盛り上げていき ます。

③ 次世代の参画促進チーム

現在、花の会役員などで中心的に活動している方々が60代、70代が多いのが現状です。次世代へどうバトンを繋いでいくのか?まずは、花の会活動への参加の現状を把握するためにアンケート配布と集約をしました。アンケート結果の考察を深めて、次世代の参画をどのように促していくのか?2018年度は具体的に検討していきます。

④ 花の会学習会開催

学習会の内容について会員にアンケートを実施して " 障害児者の支援について "が選ばれました。2018年3月6日(火)10:00~12:00 高槻現代劇場市民会館402号室において講師に鯨岡 峻氏を迎えて「支援のあり方を再考するために」をテーマに学習会を開催しています。104名の方が参加し、児童の支援に限らず、相互の気持ちが通じ合うコミュニケーションのあり方について再考する貴重な時間となりました。2018年度に関しても会員の皆様からのご意見を参考に学習会を開催します。

【3】 成年後見制度の利用促進(親族後見をすすめる会の取り組み) 2015年11月に成年後見制度利用検討委員会から、親族後 見をすすめる会に発展的解消を行ってから、2年6か月が経過し ました。2017年度は「一から成年後見制度、親族後見を考え る」として、計4回、会員の方を対象にした学習会を開催して、 のべ85名の方に参加いただきました。 成年後見制度は、ただ金銭管理を目的とした制度ではありません。人権、権利擁護のための制度の1つ、まだまだ問題点はあるものの法的にメンバーの将来を考える上で重要な制度の1つになっています。とはいえ、成年後見制度を利用するということは、なかなかハードルの高い作業。「今、困っていない」「必要になってから考える」という方が多いのが現状だとは思いますが、少しずつ「準備を始める」方が増えてきました。第三者が後見人になったとしても、困らないように、その思いを引き継いでいけるように動き始めておられます。2018年度は、「第1歩」を踏み出すために必要なことは何か、考えていきます。

【4】会員の交流活性化

2017年度の「交流会」を6月17日(土)高槻現代劇場3階レセプションルームでの「第34回総会」の後に開催し、350名の参加がありました。グループホーム『ぽん・ぽこ』の開所・祝賀会も兼ねての開催でした。「みんなの会」が担当し、歌やダンスで盛り上がりを見せました。

また、これからの花の会について意見交換する交流の場を設定し、会員の結束を強めると同時に次世代の花の会を担う人材の育成を行う目的で「お父さんの会」を開催しました。第48回・第49回花の会バザー、(5/21、11/12)第17回花の会夏まつり(7/8)で燻製を製造販売し、共働舎花の会生産活動へ利益を寄付しています。父親の参画を促しましたが、参加者が少ない状況です。より多くの皆様に参加してもらえるように取り組みの見直しを進めていきます。

【5】日中活動運営懇話会、グループホーム運営懇話会

日中活動運営懇話会とグループホーム運営懇話会を発展的解消として、新たに法人の運営協議会へと移行しました。(2017年11月)日中活動運営懇話会で実施していた活動見学は継続して実施、グループホーム運営懇話会も有志での集まり「つむぎ会」として継続してメンバーの意見や想いを聞く場を設定しています。

【6】作品展実行委員会

第9回目の作品展は、恒例となった JR 高槻駅に隣接する商業施設アクトアモーレで4月13日(金)14日(土)に開催しました。第8回より、応募対象者を、生活介護事業、グループホーム利用者だけではなく就労系(就労継続、就労移行、生活訓練)、児童発達支援・放課後等デイサービスのメンバーにも拡大し約120点の応募作品がありました。また同時開催していた自主製品の販売ブースでは、花の会のことを知らない方も、商品を手に取り、話をすることで、商品だけでなく、花の会の活動に興味を持っていただくこともでき、多くの方と交流することができました。

【7】家族会の活動について

バザー・川添まつり・ふれあいひろば、で作業協力し売上に貢献しました。食事会・夏祭り・運動会などの行事への参加やHK U活動(ダンスクラブ)を通して親睦を図りました。また会員の高齢化による人員不足を控えてバザーの作業協力について規約を

2017年度 「花の会」運営会計収支決算書 2017年4月1日~2018年3月31日

「花の会」
(1)収入の部 (円)
項目 当初予算額 決策額 差額 (骨う
会費収入 実施会員 884 000 960 000 66 000

					(1.1)
項目		当初予算額	決算額	差額	備考
会費収入	家族会員	894,000	960,000	66,000	
	職員会員	702,000	735,000	33,000	
	団体会員	24,000	24,000	0	
協力金		0	0	0	
寄付金		0	30,000	30,000	
分担金·参加	費収入	200,000	200,000	0	家族会・法人分担金(総会)
雑収入		500	7,067	6,567	預金利息
貸付戻り金		0	200,000	200,000	
収入合計		1,820,500	2,156,067	335,567	
前年度繰越	金	7,554,667	7,554,667	0	
総計		9,375,167	9,710,734	335,567	

(2)支出の部

				(円)
項目	当初予算額	決算額	差額	備考
活動費	600,000	536,859	-63,141	総会・バザー賄等
寄附金支出			0	
委員会活動費	240,000	138,241	-101,759	作品展経費、学習会経費、印刷費
慶弔費	300,000	301,200	1,200	
貸付金	500,000	250,000	-250,000	
雑費	50,000	73,270	23,270	職員ネックストラップ
支出合計	1,690,000	1,299,570	-390,430	
次年度繰越金	7,685,167	8,411,164	725,997	
総計	9,375,167	9,710,734	335,567	

(3)積立金内訳				(円)
項目	当初予算額	今年度積立額	差額	累積額
40周年事業積立金	500,000	500,000	0	1,500,000
合計	500,000	500,000	0	2.000.000

(4)次年度繰過	或金内訳 2017/3/31		(円)
預金	三菱東京UFJ銀行(高槻支店)普通口座	8,355,364	繰越金·積立金
現金		55,800	

改正しました。尚、4月8日に総会を開き、2017年度の詳細と新しい規約書は既に配布済です。これからも家族会は皆様の一番身近な窓口として、声を拾いながら活動を続けていきます。

【8】 友花会活動について

一般就労しているメンバーを中心に余暇活動を実施しました。 交流を通してお互いの悩みや問題を共有することも目的です。 2017年度は合計21回の活動があり、一泊旅行、カラオケ大 会、初詣など、皆で充実した余暇を過ごすことができました。

【9】職員親睦会について

職員間の交流を目的に親睦会を2回(8/10、12/22) 開催しました。また、グループホームは勤務形態の違いから参加が難しい職員もいるために別途2回(12/30、1/17) 開催しました。今後も部門間【日中活動部門(児童も含む)、地域生活部門(グループホーム)就労部門】の交流を活発にし、花の会のスケールメリットを活かした支援を確立する為にも、親睦会の活性化をめざします。

【10】地域の諸団体との連携活動について

高槻事業所連絡会(高事連)・高槻市障害児者団体連絡協議会(高 障連)が地域での障害者運動にとって連携の核となっていること から、団体の活動への協力体制の強化を図ってきました。今後も 活動への協力体制を継続していきます。

【11】メンバーの生産活動の支援について

- ・日中活動の生産活動として位置づけられている年2回の『花の会パザー』を支援しました。また、生産活動への協力として、アルミ缶・リサイクル用品の提供を会員と地域の方にお願いし、多くの協力を頂きました。年末物品の取り組みでもカレンダーをはじめ様々な商品に対して多くのご注文を確保することができました。
- ・高槻事業所連絡会と連携した「障害者優先調達推進法」の推進、自主製品展示コーナーの充実は十分な取り組みができませんでした。2018年度は行政との協議の場を持ち、課題整理を行います。

【12】メンバーの自主活動と「運営参画」の取り組みについてメンバーの運営組織への部分参加が定着し、一定の役割を果たしてきているといえます。199年7月に『みんなの会』ができ、数年間は『当事者活動支援』について、定例会・学習会・ワーカーの会議等で活発に議論され、メンバーの『自己決定』『自己選択』を不十分ながらも意識した取り組みが行われてきました。しかし、近年は、議論される機会が少なくなっています。そのような中、少し前進したこととして、グループホームの当事者会『四季路』が2017年6月に発足し、ホームでの生活が自分たちにとってよりよいものとなるように、話し会う機会を設定しています。今後、当事者活動の必要性・重要性についての議論がいまだに不十分であること、当事者活動の支援についてのスタッフの質と量の充実、権利擁護について等、課題の解決に向けて取り組みを進めていきます。

(花の会 事務長 牛嶌 亮)

(m)

第4号議案

2018年度「花の会」収支予算書 2018年4月1日~2019年3月31日

(1)収入の部

					(円)
項目		前年度予算額	今年度予算額	差額	備考
	家族会員	894,000	960,000	66,000	昨年度実績
会費収入	職員会員	702,000	735,000	33,000	昨年度実績
	団体会員	24,000	24,000	0	4件
協力金		0	0	0	
寄付金		0	0	0	
分担金·参加	費収入	200,000	200,000	0	総会(家族会・法人)
雑収入		500	500	0	預金利息等
繰入金		0	0	0	
収入合計		1,820,500	1,919,500	99,000	
前年度繰越金		7,554,667	8,411,164	856,497	
総計		9,375,167	10,330,664	955,497	

(2)支出の部

				(H)
項目	前年度予算額	今年度予算額	差額	備考
活動費	600,000	600,000	0	総会・バザー賄等
寄附金支出	0	1,000,000	1,000,000	第4共働舎(こすもす改装)
委員会活動費	240,000	240,000	0	4万円×3委員会·3部会
慶弔費	300,000	300,000	0	祝金等関係
積立金繰入	500,000	500,000	0	40周年事業への積立金
雑 費	50,000	75,000	25,000	
合 計	1,690,000	2,715,000	1,025,000	
次年度繰越金	7,685,167	7,615,664	-69,503	
総計	9,375,167	10.330.664	955,497	

(3)積立金内訳

				(円)
項目	前年度予算額	今年度予算額	差額	今年度累積予測額
40周年事業積立金	500,000	500,000	0	2,000,000
슬計	500 000	500,000	٥	2 500 000

みんなの会 代表 中道 雅憲(共働舎花の会)





後援会事務局 白石 朝子

日頃より後援会の活動に温かいご支援とご協力をいただき、ありがとうございます。

後援会の目下の事業は、法人花の会の諸施設に関わる財政支援です。みなさまの貴重な会費を役立たせていただいています。2018年度は、第4共働舎「こすもす」の改築や第2共働舎の備品購入を予算化しています。

建物の整備は業者に委託しますので費用がかかりますが、施設整備の一環として、7年前から、自分たちの力でできることは取り組んでみようと、ボランタリーな活動として共働舎の「庭づくり」に力を注いできました。

「整備サポーター活動」と名付けていますが、この取り組みは参加者同士の親睦や気兼ねのない交流の場ともなってきています。また、瓢箪から駒のように、参加者からの要望で「包丁研ぎ教室」などの企画も実施しています。

どなたでもお気軽に参加してみてください。お待ちしています。



2017年度 家族会活動について

2017年度 会長 宮本 雅代

主に次の3つのことに取り組みました。

1. 作業協力

花の会バザー(5月・11月)、川添祭り(7月)、ふれあいひろば(10月)で販売等の作業を行い、売上に貢献しました。

2. 親睦

食事会(11月)を開いた他、花の会の運動会や夏祭り、また HKU 活動(ダンス部)などを通して会員同士の交流を図りました。

3. 規約改正

バザーの作業協力について、協力する人としない人達との間の不公平感を 是正し、更にバザーの人手不足を解消する提案が会員の中から出されまし た。アンケートを取り、会議を重ねた結果、総会で可決され、規約を一部 改正しました。

家族会はこれからも会員の一番身近な存在として、皆の声を拾いながら活動していきます。



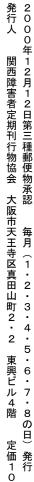
洋 刪 扣 生

			i	活	動	報告
			花の会			法人
	8	В	家族会総会	6	金	事務局会議
	10	火	法人設立検討部会(第6回)	16		事務調整会議
	13 • 14		第9回 花の会作品展	23		花の会ニュースno. 176
	14	<u>**</u> 土	次世代の参画促進チーム	20	,,	号発行
4月	''	_	(第7回) /第9回親族後見を	28	±	花の会運動会
.,,			すすめる会勉強会	20	_	100公正到公
	17	火	生産活動への協力検討チー			
	''	^	ム (第8回)			
	28	±	職員親睦会			
	1	火	日常生活支援検討部会(第9	11	金	事務局会議
	l '			15		事務調整会議
	14	月	ロ/ 集会の場所と方法検討チー	31		監事監査 監事監査
	'	7	ム(第7回)	"	/ \	血于血且
5月	15	火	法人設立検討部会(第7回)			
	24	木	親族後見をすすめる会役員			
	-		会 (第18回)			
	29	火	花の会役員会			
	9	土	次世代の参画促進チーム	1	金	理事会
			(第8回)	17	日	定時評議委員会
	25	月		18		大阪北部地震の対応
6月	-	′′	10回)	20		事務調整会議
-,,	26	火	・・ロッ 生産活動への協力検討チー	30		第35回花の会総会・交
			ム (第9回)			流会
	30	土	第35回花の会総会・交流会			
	2	月	法人設立検討部会(第8回)	7	土	第18回花の会夏祭り中
	9	月	障大連決起集会			止
		''	親族後見をすすめる会役員	13	金	— 事務局会議
			会 (第19回)	23		運営協議会
7月	10	火	花の会役員会		•	事務調整会議
	29	日	第161回定例会	25	水	花の会ニュースno. 177
			次世代の参画促進チーム			号発行
			(第9回)			
					京	大労・相談
	1-2		津之江北町・北大樋町引越	2 • 4 • 6		たかつきまるしぇ
	16	月	事例検討	7 • 8	+ - A	摂津峡さくらまつり
4月	27	金	内部研修	19-21		バリアフリー展
473		312	L 1 H H H H H	10 21		
	2.1					
	21	月	事例検討	3 • 4	木・金	高槻ジャズストリート
	22	火	実地指導			出店
5月	25	金	内部研修			
	22	金	内部研修	3	日	犬猫譲渡会
				4 • 6 • 8		たかつきまるしぇ
6月				14-16		希望の家研修旅行
				17	日	めぐりあいフェスタ
	21	±	新入職員研修	28	±	芥川商店街夜市
	23	月	事例検討会	-		
7月	27	金	内部研修			
ר ו	31	火	GH定例会			
			. =			
				1	Ī	

パソコンからのアクセス 社会福祉法人花の会

検索

携帯電話からのアクセス



ŏ 円

日中活動

年度始め

開所日

内部研修

花の会運動会

メンバー給料日

法人入職時研修

みんなの会全体会議

第50回花の会バザー

メンバー健康診断

休所(地震のため)

第35回花の会総会・

メンバー給料日

メンバー給料日 避難訓練

メンバー給料日

2

5

14

25

28

2

11

12

20

21

23

1 - 8

5

19

30

5

18

18 • 20

月

木

土

水

土

水

金

土

日

月

水

金

火

火

土

木

水

代休

内部研修

交流会

内部研修

水・金歯科検診







様々な職種の求人を

ホームページにて 掲載しています。

ご応募を

お待ちしています

http://www.hananokai.info/

お問い合わせ:

共働舎花の会

電話 072-692-2859 (担当:山口)

